

奈良市立左京小学校



取組の概要

【児童数・学級数・教職員数】 ※教職員35名

学年	1	2	3	4	5	6	特支	計
学級数	3	2	2	2	2	2	5	18
児童数	67	57	71	47	52	54	30	378

【教員時間割】

令和7年3月1日現在



学級担任による指導



学級担任間の交換授業による指導



専科指導教員による指導



中学校教員による指導

学年	クラス	担任	持ち時数	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	
5 年	1 組	A	22	A	A	A	E	A	F	A	B	A	A	
	2 組	B	22	B	B	B		B				B		
6 年	1 組	C	22	C	C	C		C		C	C	C	C	D
	2 組	D	22	D	D			D		D	D	D		

<E…専科指導教員(算数) F…専科指導教員(音楽)>

2

取組の効果

【持ち時数の低減】

教員1人の週当たりの授業時数を低減することができ、それにより生じた時間で教材研究や事務処理をすることができた。

【高い専門性】

中学校の教員免許状を持っている教員が専科指導を行うことでより専門的な指導を行うことができた。

【情報の共有】

専科指導における児童の様子を学級担任に伝えることで、多面的に児童の実態を捉えることができた。

3

実践校の声

授業力向上

繰り返し教えることで、授業力の向上につながりました。

大変さを共有

大変なことがあってもチームで共有できるので、気持ちが楽になります。

広い視野で学年の児童を見ることが増えてきた

学級担任をしていたときには、担任をしているクラスの児童が中心でしたが、教科担任制を取り入れることで学年の児童を見よう意識が変わってきました。

野外活動などの行事でも、同じ学年の児童の名前や様子が分かるので、学年で協力して一つのことに取り組みやすいです。

4

今後の課題と方向性

児童の理解や教材研究の時間の確保など教科担任制を取り入れることのメリットは大きい。学習内容や宿題、児童の様子などを教員間で情報共有し、コミュニケーションを取る機会が増えてきた。課題としては、様々な教員が授業を受け持つことになるので、時間割の変更が難しいことがある。しかし、事前に教員間でコミュニケーションを取りながら調整している。

檀原市立真菅北小学校



取組の概要

【児童数・学級数・教職員数】 ※教職員40名

学年	1	2	3	4	5	6	特支	計
学級数	3	3	3	3	4	3	4	23
児童数	80	87	81	82	106	87	23	546

【教員時間割】

令和6年5月1日現在

	学級担任による指導				学級担任間の交換授業による指導				専科指導教員による指導				中学校教員による指導	
学年	クラス	担任	持ち時数	国語	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語		
5 年	1 組	A	23	A	D	A	B	H	I	A	J	K		
	2 組	B	23	B		B								
	3 組	C	23	C		C								
	4組	D	23	D		D								
6 年	1 組	E	23.5	E	F	E	G			E				
	2 組	F	23.5	F		F								
	3 組	G	23.5	G		G								

<H…専科指導教員（音楽） I…専科指導教員（図工） J…専科指導教員（体育） K…専科指導教員（外国語）>

2 取組の効果

【専門性の向上】

担当する教科について、深く教材研究することができ、教師がその分野における知識やスキルを深め、より質の高い教育が提供できる。児童の興味関心を高めることになり、学力の向上につながっている。

【児童理解】

複数の教師が関わることで、児童を多面的にみることができる。

【教材研究の時間の確保】

担当教科が減ること、教材研究にかかる時間が短縮され、教員の働き方改革につながった。

3 実践校の声

楽しく授業

得意な教科を教えることでより楽しく授業ができています。

教師の個性を生かす

子どもたちは、担任以外の教師にもよく話をしてくれます。個々の先生にしか見せない姿もあり、子どもたちは多様な教師と関わる経験ができています。

チームで子どもをみる

これまでは、自分のクラスという見方をしていたが、教科担任制を導入し、チームで子どもと関わることで、多面的に子どもをみることができるようになりました。チームで子どもをみることで互いに相談しやすい関係性が生まれています。

4 今後の課題と方向性

教科担任制を導入し、学年チームで子どもの様子を共有する機会は増えている。チームで学年の子どもをみることで学年の連帯感も高まり、教師間で互いを支え合う関係性ができてきている。一方で、担任として自身の学級で教える時間が少なくなるため、どのようにして学級の子どもたちと関係性を築いていくのか工夫が必要である。